

第6章 担いあうまちづくり

第1節 協働のまちづくりの推進	
主要な施策	1 協働の仕組みの構築 市民参画の場の整備 2 まちづくり活動の推進 多彩なまちづくり活動の支援 3 協働のまちづくりを支える情報の公開と共有 情報提供と公聴広報活動の充実

第6章第1節の3年間の事業費（単位：百万円）				
年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	296	248	253	797

【主な施策の主要事業】

主な施策	基本的な方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1 協働の仕組みの構築		市民参画の場の整備				市民自治推進委員会の活動を援助し、市民参加を得ながら、協働のまちづくりを進める。
		市民自治推進委員会経費				
2 まちづくり活動の推進		多彩なまちづくり活動の支援				社会、地域に貢献している市民活動を支援するため、市民活動の拠点として整備を行うため、旧登別自動車学校を買い上げ、整備を行う。 （仮称）市民活動センター設置検討委員会から市に提出された「（仮称）市民活動センターに関する意見書」及び市民団体へのアンケートを参考に整備を行う。 建物改修、備品購入 登別市連合町内会の活動を支援する。登別市連合町内会は、登別温泉地区、登別地区、鉄南地区、札内・来馬地区、中央地区、幌別西地区、青葉地区、富岸地区、新生地区、鷺別地区、美園・若草地区の各地区連合町内会で構成されている。 役員会の開催回数：年8回を予定 総会への参加単位町内会数：95町内会を予定
		市民活動センター整備事業				
		市民活動センター開設準備経費				
		登別市連合町内会助成事業				

	町内会運営費助成事業				地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会の運営を支援する。助成金は、団体割や世帯割、会館割、防犯灯割で交付され、地域の美化清掃をはじめ、敬老会や祭典、新年会、防犯灯・会館の維持管理などに利用されている。
	コミュニティ助成事業補助金				財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ組織への支援を行う。 補助件数：1件を予定
	登別市民憲章推進協議会助成金				市民憲章の周知を図るとともに、より豊かな郷土づくりを目指し、市民憲章だよりを発行している「登別市民憲章推進協議会」の活動を支援するため助成金を交付する。
	のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業				個人のグループや企業・各種団体が道路や公園・広場、河川の里親になり、ボランティアで清掃美化活動を行うアダプトプログラム「のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業」を行う。 市、市民、企業が協力して身近な生活環境を改善し、きれいなまちづくりを推進する。
	市民憲章制定40周年記念事業補助金				登別市民憲章推進協議会が設立40周年を迎え、記念誌の発行を行うことから、その活動を支援するため補助金を交付する。
3	協働のまちづくりを支える情報の公開と共有				
	情報提供と公聴広報活動の充実				
	地域情報化推進事業				地域情報センターの維持管理などを行う。 地域情報センター開館日数：年307日 利用者数：年10,000人を予定
	北海道電子自治体共同システム運用事業				電子自治体の実現に向けて構築した各種システムの共通基盤や市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用する。 電子申請可能な手続件数：最大32件を予定
	ネットワークセキュリティ強化事業				本市のネットワークが抱えるセキュリティ管理上の問題を解決し、セキュリティレベルの強化を図る。 ファイルサーバの構築・運用 ネットワーク機器の二重化 サーバ、ネットワーク機器の年次的な更新
	西いぶり広域連合共同電算化事業負担金				共同電算システム運用にかかる負担金を支払う。
	情報セキュリティ強化事業				情報流出を防ぐ仕組み（ログ管理システム、ファイル暗号化システム）導入にむけての研究を行う。 職員のセキュリティに対する意識向上に向けての指導・啓蒙を行う。

		広報等経費				市広報紙の発行 マスコミを通した市政情報の発信（随時） 単位町内会ごとの地区課題（要望）の把握 地区連合町内会ごとの地区課題の把握
		市民ニーズアンケート調査事業				地方分権の進展や少子高齢化社会を迎える中で、市民との協働のまちづくりを進めるにあたり、多様化する各年代層の市民ニーズを的確に把握するため、市民ニーズアンケート調査を行う。 アンケート調査対象者数：2,000人を予定
		旬感！のぼりべつかわらばん				室蘭まちづくり放送株式会社（FMびゅ〜）の放送枠を購入し、行政情報や暮らしに役立つ情報、イベント情報や防災情報などを放送する。 市のホームページのトップページを更新する。

第6章 担いあうまちづくり

第2節 交流によるまちづくりの推進

主要な施策

- 1 国内における交流の場と機会の拡大
国内の様々な地域との交流の推進
- 2 海外との交流の場と機会の拡大
地域国際化の推進
- 3 定住の地を求める人の勧誘と定住支援
移住・定住の受入体制の充実

第6章第2節の3年間の事業費（単位：百万円）

年度	21年度	22年度	23年度	合計
金額	9	10	10	29

【主な施策の主要事業】

主な 施策	基本 的な 方向	主要事業	事業計画年度			事業内容等
			21	22	23	
1		国内における交流の場と機会の拡大				
		国内の様々な地域との交流の推進				
		室蘭地方総合開発期成会負担金				広域的なまちづくりを進めるため、西胆振の市町で構成される期成会の要望活動を通して、社会基盤整備を図る。
		登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成金				姉妹都市である宮城県白石市と産業や経済、文化、スポーツ、福祉などの活動を通して友好・親善を図っている同協議会に助成金を交付し、活動を支援する。 事業実施件数：年7件を予定
		姉妹都市スポーツ交流事業助成金				姉妹都市である白石市と少年サッカー大会等や水泳大会を通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』に助成金を交付し、活動を支援する。 姉妹都市交流団参加回数：年2回を予定
		姉妹都市小中学校交流事業				姉妹都市である白石市の伝統文化を理解するため、各小学校持ち回りで伝統こけし絵づけを行う。 児童・生徒の積極的な交流のもとに友情を育み、かつ相互のまちを理解し、併せて学校間の交流を推進する。
		姉妹都市小中学校交流事業補助金				登別市と白石市の小・中学生が、学校間交流を行い、互いのまちの歴史を学び、交流を深める。また、交流を推進する「姉妹都市小中学校交流事業実行委員会」に補助金を交付し、活動を支援する。 小学校の交流事業：年3日 中学校の交流事業：年3日

	東京登別げんきかい交流事業				首都圏などに在住する登別市出身者やゆかりのある方で構成される「東京登別げんきかい」の活動を支援する。 情報交換会・総会の開催回数：年2回を予定
	登別市ふるさと大使事業				登別市にゆかりのある方を「登別市ふるさと大使」（通称：鬼大使）に委嘱し、さまざまな機会に登別市を宣伝してもらうとともに、まちづくり情報などの提供を受ける。 任命（委嘱）件数：年1人を予定 大使数：52人
	札幌のぼりべつ会交流事業				札幌圏在住の登別市出身者やゆかりのある方たちで構成される「札幌のぼりべつ会」の活動を支援する。 総会、懇親会、交流プラザ等の開催回数：年1回を予定
2	海外との交流の場と機会の拡大				
	地域国際化の推進				
	自治体職員協力交流事業				海外の地方自治体などの職員を「協力交流研修員」として受け入れ、自治体のノウハウや技術を習得してもらうとともに、市内で開催される国際交流事業に同研修員を参加させ、市民との交流を通して、地域の国際化を図る。
	国際交流推進事業				登別市の国際交流を推進するため、国際理解講座の開催やデンマークからの研修生受け入れの支援などを行う。
	友好交流促進都市推進事業				中国広州市をはじめ、東アジアとの友好交流を促進し、地域レベルでの友好親善を深めるとともに、観光振興を図る。 交流回数：年1回～5回程度
	市民のホスピタリティの醸成				外国人観光客が快適に滞在しやすいまちづくりを進め、市民のホスピタリティ精神の醸成に努める。
	北海道洞爺湖サミット関係経費				平成20年7月7日から9日にかけて、洞爺湖町において開催された北海道洞爺湖サミットを契機に、市民や関係団体と協働し、サミット開催を記念して、環境保全、美化などの取り組みを進め、協働のまちづくりを推進する。
	中学生海外派遣事業				登別市の次代を担う青少年が、諸外国の生活や異なる文化に接することにより、国際理解を深め、国際社会に対応できる豊かな人間性を身につけることを目的に、市内の中学2年生6人をデンマークに派遣し（7日間）、ホームステイなどを体験する。 事前、事後研修回数：年14回を予定

3 定住の地を求める人の勧誘と定住支援				
移住・定住の受入体制の充実				
移住促進事業				<p>「北海道移住促進協議会」に加盟し、他市町村と連携・協力して北海道の魅力を発信するとともに、登別市独自のパンフレットも作成し、登別市の紹介を行う。</p> <p>移住相談ワンストップ窓口を設置し、移住に関する各種問合せへの対応や移住体験の受付手続きなどを行う。</p>
移住に関する情報提供事務				<p>関東圏、関西圏で開催される各種イベントに資料を展示し、PRを行う。</p>